

3. 考慮すべき地震とその特徴

下記のとおり、宮城県沖連動型地震と延宝地震を想定地震とし、福島県沖・茨城県沖の地震を津波到達時間のみを調査・整理する参考的な地震とすることを提案するが、明治三陸地震については、中央防災会議が選定した津波の中では、茨城県沿岸で最大の水位を想定しており、他の想定地震と比較し、取り扱いについて検討する。

表 3-1 想定地震

想定地震	中防が検討対象に選択	特徴	想定地震
明治三陸地震	○	中央防災会議が防災対策の検討対象として選定した津波の中で、茨城県沿岸では最大の水位となる。	●
宮城県沖連動型地震	○	切迫性が指摘されており、近い将来の防災対策の目標になりうる。	○
福島県沖・茨城県沖の地震		茨城県沿岸に最も近い波源であり、到達時間が最も早い。	△
延宝地震		既往最大の津波で、中央防災会議の試算では、茨城県沿岸で5 mを超える津波が想定されており、浸水域が最大となる。	○

△：津波到達時間のみ調査・整理

●：他の想定地震と比較検討する

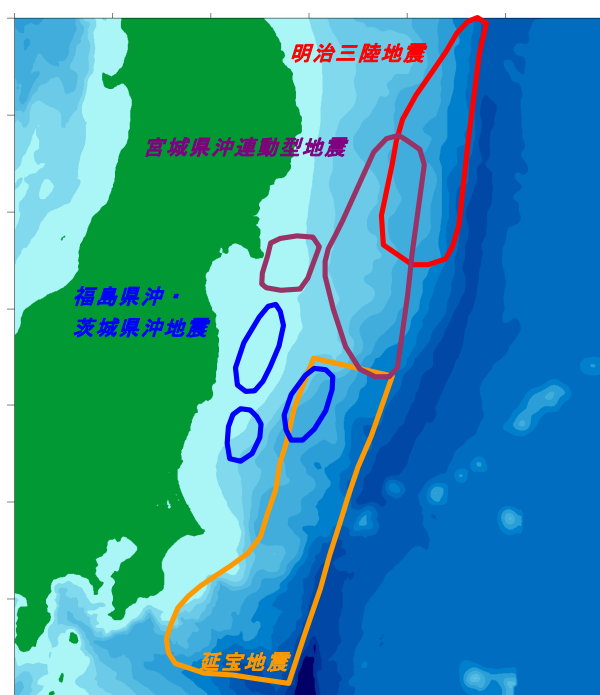


図 3-1 想定地震波源位置